(カ) 経済斗争と政治斗争との関聯は、従来、漠然と考へられてゐたやうな段階的なるものではない。無論政治斗争と経済斗争との間には直接な関係がある。経済斗争にさへ訓練されてゐない大衆が直に政治斗争に参加するといふやうなことは考へられないことだ。だから、大衆が猛烈な経済斗争に訓練されゝばされる程、スバラシイ政治斗争を敢行する可能性は増大して来るわけだ。だが、それは、個々の経済斗争をそのまゝ、発展させてすばらしい政治斗争に転化せしめることが出来るといふこととは別である。

(ヨ) 一個の資本家もしくは地主に対する斗争に於てさへ、客観的、主体的、諸条件の周密なる分析や、極めて科学的な見通しや戦術が必要とされてゐるのだ。況んや、我々が資本家地主の政治権力を向ふに廻して、特定の政治的カンパニアを遂行する場合には、予め、極度に、周密な計画が樹てられねばならぬし、その計画を貫徹するに足るだけの訓練が不断に積まれなければならないのである。

(タ) 我々は、個々の経済斗争の尖端に立って果敢なる斗ひを続けると仝時に当面の最も緊急な問題をとらへて、不断に独立の政治斗争を計画し大衆を動員すると仝時に我々自身を政治斗争に鍛錬し優秀なる戦術を学ばねばならぬのである。

(レ) 更に我々は、政治斗争の戦術に関しては、常に農民との提携を考へる必要がある。コミンタンが明確に指摘してゐる通り、我国に於て「プロ

混乱に陥り、更にまた、全協指導部は、今でも、ウルトラ的組織方針を脱脚し得ず、様々の混乱を繰り返してゐる。

(リ) 更に、従来我々は、「政治斗争と経済斗争を如何に結びつけるべきであるか？」の方針に関しても、かなりの混乱を繰り返して来た。

(ヌ) たとへば、従来我々は、多くの場合「ストライキを政治斗争へ!!」といふスローガンを強調して来た。だが、このスローガンの意味の取り違ひのために、かなり多くの誤謬を犯して来た。

(ル) たとへば、従来我々は、個々の資本家に対する斗争の過程に於て、それを政治斗争へ転化せしめ、[illegible]入って来た。だが、個々の資本家に対する斗争をそのまゝ、政治斗争――政治権力に対する斗争――に転化せしめ得ると考へるやうな考へ方は、極めて観念的な考へ方であった。

(ヲ) 無論、当面の客観的状勢の下に於ては、あらゆる経済斗争は、[redacted] [redacted]、政治斗争としての性質を帯びて来る。そして、無論我々は、[redacted]、全力的に斗はなければならない。その意味からすれば、あらゆる経済斗争は現在では、直に政治斗争に転化する。またせしめねばならぬ。

(ワ) だが、その意味に於ける政治斗争にも限界がある。我々はそれ故に経済斗争に於ける政治斗争とは別に、個々の経済斗争から独立した、特定の明確な斗争目標を掲げた政治斗争を計画し、敢行すべきである。